

令和7年度 学生まちづくり課題解決プロジェクト



小中学校の児童生徒が、自分たちの視点で、本市の課題や困りごとを想像し、改善するための考えやアイデアを、9月27日(土)市議会議場において具体的に提案・提言しました。



議会を傍聴してみませんか

本会議は51人、委員会は12人まで傍聴できます。議会のライブ配信も行っています。詳しくは議会事務局までご確認ください。

11月定例会の日程(予定) 会議の開始時刻は午前10時からです

日	月	火	水	木	金	土
11/2	3	4	5	6	7	8
	文化の日		本会議 市長提案 理由説明			
9	10	11	12	13	14	15
	本会議 質疑・委員会 付託		総務文教 常任委員会	環境厚生 常任委員会	建設経済 常任委員会	
16	17	18	19	20	21	22
		本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問 (予備日)	本会議 委員長報告・質疑 討論・採決	



市議会HP



市議会ライブ配信

決算特別委員会	34P
9月定例会リポート	36P
議決結果一覧	38P
一般質問(個人質問)	39P
常任委員会所管調査	45P
手話言語条例調査研究特別 委員会の最終報告	46P

決算 審査報告



令和6年度 各会計の決算を認定しました

決算特別委員会にて一般会計、所管常任委員会にて特別会計、企業会計の決算審査を行い、9月22日の本会議において認定・可決されました。

令和6年度 一般会計・特別会計決算書

単位：円

会 計 別		歳 入	歳 出	差引残額
		決算額 (A)	決算額 (B)	(A - B)
一般会計		33,634,876,850	31,874,153,881	1,760,722,969
特別会計	国民健康保険事業	6,536,475,101	6,462,420,554	74,054,547
	後期高齢者医療	1,629,669,910	1,588,220,798	41,449,112
	介護保険事業	6,143,354,227	6,102,061,707	41,292,520
	住宅新築資金等貸付事業	1,455,026	898,610	556,416
	筑紫地区障害支援区分等審査会事業	13,022,633	13,022,633	0
合 計		47,958,853,747	46,040,778,183	1,918,075,564

令和6年度 公営企業会計決算書

単位：円

会 計	科 目	決算額	会 計	科 目	決算額
水道事業	収益的収入	1,492,804,191	下水道事業	収益的収入	1,819,357,974
	収益的支出	1,302,951,960		収益的支出	1,441,127,179
	収益的収支	189,852,231		収益的収支	378,230,795
	資本的収入	237,573,400		資本的収入	319,987,060
	資本的支出	664,473,546		資本的支出	1,125,429,738
	資本的収支	▲426,900,146		資本的収支	▲805,442,678

※不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額と、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

令和6年度 市債・基金残高

単位：千円

区 分	R5年度末	R6年度末	増減額
市 債	18,730,050	17,505,373	▲1,224,677
基 金	7,054,523	7,268,463	213,940

「市債」は市の借金、「基金」は市の貯金にあたります。



太宰府市の お金の使い方をチェック

決算審査で交わされた質疑の中から、委員の関心が高かったものを掲載しています。

Q 古都・みらい基金の用途について

令和6年度末の基金残高は約1,700万円となっていますが、残高が十分とは言えないことから、これまでのところ活用事例はなく、引き続き積立を継続しています。

Q 学生まちづくり課題解決提案補助金の実施状況について

13の高校・大学から提案があり、プレゼンテーションを経て採択された10チームが、それぞれの提案事業を実施しました。

Q 大学設立支援金(2億5,000万円)の使用状況の確認について

支援金については、防音設備工事等に使用されていることを確認しています。

Q 敬老事業費(約2,496万円)の内容について

敬老会費として、77歳以上の方の人数に、1人当たり2,500円を乗じた金額を自治会へ交付しています。

Q 太陽光発電等の導入費用を補助する地球温暖化対策補助金(約3,707万円)の実施状況について

令和5年度は、予算額800万円が年度途中で早期に消化されたため、令和6年度は予算を拡充して対応しています。

Q 小学校児童と中学校生徒一人当たりの給食調理業務委託料について、小学校は2万8千円／人に対して、中学校は6万8千円／人と大きな金額差がある理由について

中学校給食では、配送料、設備費、配膳員の人件費等が加算されるため、小学校と比較して委託料に大きな差が生じています。

Q 市立図書館の図書購入費(約1,310万円)に関して、購入書籍の冊数および廃棄処分の冊数について

購入した書籍は8,578冊、廃棄した書籍は11,585冊です。

Q スケートボードパーク建設の進捗状況について

令和7年度へ繰り越した案件であり、発注事務が遅れているため、近日中に入札が行われる見込みです。(※9月19日実施済み)



9月 定例会リポート

○令和7年第3回定例会（令和7年8月29日～9月22日） 会期25日間

○財産の取得

- ◆消防ポンプ自動車（2,557万5千円）の仮契約を締結しました。
《議案第44号》
- ◆太宰府市緑地保護地区内の土地（5,226万720円）の取得を
予定しています。《議案第45号》

可決

可決

○条例改正

- ◆太宰府市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の改正
レジ袋タイプの家庭用可燃専用ごみ袋特小サイズを追加することに伴い、
条例の一部を改正しました。《議案第46号》

原案可決

○令和7年度一般会計補正予算（第3号）

- ◆歳入・歳出それぞれ21億4,826万円を追加しました。《議案第47号》

原案可決

費目	補正予算額	主な事業と予算額
児童福祉費	2億2,396万9千円	おこめ券配付事業（中学生以下の子どもがいる世帯対象） 3,802万2千円 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、物価高騰の影響を受けている中学生以下の子どもがいる世帯を支援するおこめ券を配付するものです。 第3子以降保育料無償化事業 4,029万5千円（事業規模※） 子どもが多い世帯の経済的負担を軽減し、さらに子育て環境を充実させるために第3子以降の保育料を無償化するものです。 ※歳出額1,428万3千円＋歳入減額分（保育料減額分）2,601万2千円 ＝4,029万5千円
清掃費	36万7千円	市指定家庭用レジごみ袋（特小サイズ）導入 36万7千円 プラスチックごみの削減やごみの減量化、市民の環境意識の醸成を図るとともに、単身高齢者世帯等からもニーズのある特小サイズの本市指定家庭用レジごみ袋を導入するものです。
企画費	10億4,706万7千円	大学等交流事業費 7億円 （仮称）福岡国際音楽大学の設立支援を目的として寄附が見込まれるため、大学設立のための支援金を計上するものです。 令和の都太宰府ふるさと納税基金 3億4,706万7千円 基金への積立です。

総務管理費	4億9,955万6千円	公共施設整備基金 2億円 基金への積立です。 財政調整資金 2億9,955万6千円 基金への積立です。
社会福祉費	3億6,216万9千円	地域福祉基金 3億5,000万円 基金への積立です。

本案は予算特別委員会に付託され、委員会で審査を行う中で委員から企業版ふるさと太宰府応援寄附を財源とする大学設立支援金7億円を減額する修正動議（※P46に解説があります）が提出されました。委員会において、修正案は賛成少数で否決されました。
さらに本会議最終日、議員から先の委員会での修正動議と同様の理由による修正動議が提出されました。修正案は賛成5名、反対10名で賛成少数により否決されました。
その後、原案の採決を行い、賛成多数で原案のとおり可決されました。

○議員発議

- ◆議案第47号「令和7年度太宰府市一般会計補正予算（第3号）について」に対する附帯決議
企業版ふるさと納税による寄附金の流れの透明性を高めるためという理由で、附帯決議（※P46に解説があります）が提出されましたが、賛成5名、反対10名で否決されました。《発議第4号》

否決

○専決処分（報告）

- ◆草刈作業中の事故による損害賠償の額の決定《報告第13号》

○令和7年度一般会計補正予算（第4号）

- ◆歳入・歳出それぞれ982万9千円を追加しました。《議案第51号》

原案可決

費目	補正予算額	主な事業と予算額
児童福祉費	982万9千円	おこめ券配付事業（高校生世代の子どもがいる世帯対象） 982万9千円 高校生世代の子ども一人あたり3,000円のおこめ券を配付するものです。

歳入・歳出それぞれの総額は、367億1,871万円になりました。

9月定例会 全会一致で可決した議案

議案番号等	案件名	議決結果
議案第44号	財産の取得(消防ポンプ自動車)について	可決
議案第45号	財産の取得(太宰府市緑地保護地区内)について	可決
議案第46号	太宰府市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第49号	令和7年度太宰府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第50号	令和7年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
認定第2号	令和6年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第3号	令和6年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第4号	令和6年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第5号	令和6年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第6号	令和6年度筑紫地区障害支援区分等審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第7号	令和6年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	原案可決及び認定
認定第8号	令和6年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	原案可決及び認定
報告第7号	令和6年度太宰府市健全化判断比率の報告について	—
報告第8号	令和6年度太宰府市水道事業会計資金不足比率の報告について	—
報告第9号	令和6年度太宰府市下水道事業会計資金不足比率の報告について	—
報告第10号	太宰府市土地開発公社の経営状況報告について	—
報告第11号	公益財団法人太宰府市国際交流協会の経営状況報告について	—
報告第12号	公益財団法人太宰府市文化スポーツ振興財団の経営状況報告について	—
報告第13号	専決処分の報告について(草刈作業中の事故による損害賠償の額の決定)	—
議案第51号	令和7年度太宰府市一般会計補正予算(第4号)について	原案可決

9月定例会 賛否の分かれた議案

(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×で表しています)

議案番号等	案件名	議決結果	公明党		宰光		新風		市民ネット		市民の声		未来のまち		無会派		
			小島眞由美	堺剛	陶山良尚	原田久美子	入江寿	船越隆之	門田直樹	今泉義文	徳永洋介	森田正嗣	長谷川公成	橋本健	木村彰人	馬場礼子	笠利毅
議案第47号	令和7年度太宰府市一般会計補正予算(第3号)について	原案可決	×	×	×	×	×	×	※	×	×	○	×	×	○	○	○
議案第48号	令和7年度太宰府市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×
認定第 1号	令和6年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×
発議第 4号	議案第47号「令和7年度太宰府市一般会計補正予算(第3号)について」に対する附帯決議	否決	×	×	×	×	×	×	※	×	×	○	×	×	○	○	○

※門田直樹議長は本会議における過半数議決では表決権を有しません。
※議案第47号の表上段は「修正案」に対する表決結果、下段は「原案」に対する表決結果です。
※以下の会派名について、一部省略して記載しています。
市民ネット：太宰府市民ネット 市民の声：太宰府市民の声 無会派：会派に所属していない議員

要 望

要望第2号	太宰府市民にまちづくりへの市民参画の機会を提供する場になり得る、「太宰府市議会議員視察報告会」の開催を求める要望書	議会運営委員会、総務文教常任委員会、環境厚生常任委員会、建設経済常任委員会に送付
-------	---	--

質問を行った議員名と質問項目、及び原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。



問 高尾川の管理を

長谷川 公成 議員



録画映像はこちら

Q 高尾川は豪雨時には氾濫をおこすこともあり、市民生活に大きな影響を及ぼしている。また高雄交差点付近では側溝に土砂が堆積し、道路冠水の要因となっているため2点伺う。

A ①高尾川については本市としては本市として重要な課題と捉えています。直近では令和7年7月に筑紫野市と協議を行い、現況を共有するとともに、河川改修は基本的に下流側から整備を行うことを確認し、今後の可能性を検討しています。



大雨時の高尾川(2018年頃)の様子

②側溝内の土砂の撤去を繰り返し求めてきたが、市の見解は、その進捗状況について、

②道路側溝は雨水等の排水を目的とするものです。高雄交差点付近の現状は市も把握しています。側溝は日ごろからの維持管理が大切となりますので、土砂撤去が必要な場合は国や県に引き続き適正な管理を要望していきま

全質問項目

- ◇高尾川の河川改修と側溝内の土砂撤去について
- ◇高雄交差点の改良について
- ◇学童保育所のクラス分けについて



問 「すぐやる班」の更なる推進を

橋本 健 議員



録画映像はこちら

Q すぐやる班は、市民の方からの緊急性の高い要望に対して迅速に対応する施策である。すぐやる班が発足して2年目を迎え、市民の要望に素早い機動力を発揮して現場に赴き、困りごとを解決していくことによって、市民から大いに喜ばれ、深く感謝されると確信している。そこで、現在活躍中のすぐやる班について、3点伺う。

A ①主な活動内容は、市有地の草刈りや樹木の伐採、カーブミラーの調整や放置自転車の回収、側溝の土砂上げ、不法投棄の監視パトロール、有害鳥獣出没時の出動対応、イノシシ用箱などの点検及び捕獲など、市民ニーズに機動的に対応しています。



すぐやる班

②令和6年度の主な活動件数は、先ほど述べた活動内容を合計すると1,000件余りとなっています。

③今後は、さらなる認知度向上を図り、市民ニーズに機動的、積極的に応えていく事が必要であると考えます。

全質問項目

- ◇すぐやる班について
- ◇元気づくりポイント事業について



問 市庁舎への懸垂幕設置で
応援を

原田 久美子 議員



録画映像はこちら

Q 本市出身の矢ヶ部紋可さん、真衣さん姉妹が第10回アジア太平洋ろう者競技大会にデフバトミント日本代表として出場し、女子ダブルスと団体戦で優勝し、金メダルを獲得された。

A 市からの情報発信については、ホームページやSNS、広報紙などの媒体を通じて広くお知らせしてきました。さらには、テレビや新聞などの報道機関に取材をいただけるよう、積極的にプレスリリースを行ってきました。報道機関を通じて発信される情報は、基本的には市の経費をかけることなく広域のかつ効率的に伝わるため、費用対効果の面からも最も有効な方法であると考えています。

の1つとして検討を重ねていきたいと考えます。



市役所庁舎懸垂幕

また、太宰府東中学校3年生の今村好花さんは第52回全日本中学校選手権女子100メートルハードルで中学校新記録を打ち立て、2連覇を果たされた。彼女たちの活躍をたえらるとともに、市庁舎に懸垂幕を掲げて市民に広く知らせるべきだと考えるが、市の見解を伺う。

懸垂幕の活用については、宣伝効果や経費面、適用範囲などの検証を行いながら選択肢

全質問項目

- ◇市役所庁舎への懸垂幕設置について
- ◇地域の公園について



問 子どもたちの未来に向けた
学校教育の課題と対応策

徳永 洋介 議員



録画映像はこちら

Q 本市の学校教育における諸課題と方向性について3点伺う。

A ①本市の小中学校における働き方改革の課題と方向性について
②部活動地域移行の課題と方向性について
③本市の不登校対策について

①本市教職員の時間外勤務は、小・中学校ともに減少傾向にあり、働き方改革の成果が徐々に表れてきています。今後も、働き方改革指針に基づき、支援体制や職場環境の整備を進めていきます。また、ストレスチェックの実施を通じて、職場環境の改善につなげていきます。

②国は、部活動の「地域移行」を「地域展開」と方針転換し、令和8年度からの着手が求められています。本市においても部活動改革会議を開催し、地域展開に向けた具体的な協議を進めています。



全質問項目

- ◇本市の学校教育における諸課題と方向性について



問 高齢者の外出を支える
タクシー券助成制度を提案

馬場 礼子 議員



録画映像はこちら

Q 重度障がい者への支援策として、福祉タクシー券の助成や運転免許を自主返納した者への交通系ICカード交付制度は存在する。一方、高齢者を対象とした継続的な移動支援制度は、現時点では設けられていない。

A ①タクシーは柔軟かつ個別対応が可能で、買い物や通院など日常の移動手段として有効です。一方、タクシー券助成制度の導入にあたっては、対象者の範囲や予算規模、公平性の確保、地域の交通事業者との調整、既存の公共交通とのバランスなど、検討すべき課題があります。加えて、今後の公共交通の在り方について所管部署で検討が進められていることも踏まえ、慎重な対応が必要で

支援策について調査・研究を進めていきます。



②他市の先進事例や費用対効果を踏まえ、一人当たり年間2万円相当の支援を提案するが、見解を伺う。

②同制度を導入している他自治体の先進事例を参考にしつつ、より効果的な高齢者の移動

全質問項目

- ◇高齢者の移動支援策としてのタクシー券助成制度導入について
- ◇デマンド交通の実証実験と公共交通の広域整備について



問 国際理解・国際交流活動を
広めよう

木村 彰人 議員



録画映像はこちら

Q 「国際理解は人間理解」という基本理念のもと太宰府西小学校が進めてきた国際理解教育が今年36年目を迎える。人間理解の深まりは日常生活におけるコミュニケーション能力の向上にも繋がる。国際理解教育と国際交流活動について2点伺う。

A ①国際理解教育は異文化理解と共生を促す教育で、各学校が計画的に取り組んでいます。本市では小学校6年生、中学2年生を九州国立博物館に招待し、グローバルな視点を持った子どもの育成を目指しています。国際理解教育を大切にし、多文化に共感する力やコミュニケーション能力の育成を図っていきます。

多文化共生社会の実現に向けた取り組みを進めていきます。



②太宰府市国際交流協会を中心に展開されている草の根の国際交流活動の現状と改善点について

②国際交流協会では国際交流促進、外国人学生支援、在住外国人支援を行っています。今後、協会活動のさらなる周知を図り、在住外国人の協会加入促進や支援事業の充実に努め、

全質問項目

- ◇国際理解教育と国際交流活動について
- ◇海外姉妹都市交流と、市長の海外視察について



問 プレミアム商品券の
事業検証を

神武 綾 議員



録画映像はこちら

Q プレミアム付商品券事業は、キャッシュレスのだざいふペイと紙ラク商品券が発行され、地域事業者支援と市民生活の経済的支援の2つの側面がある。しかし事業者からは新規顧客の開拓につながっていない、換金手数料が上がり利益が減っている、市民からは家族全員抽せん

A ①顧客の来店頻度や購入額の増加などの効果が確認できており、域内消費が喚起され地域事業者の経営安定に寄与していると判断しています。

②市民からの期待や需要は高く、市民と地域事業者の結びつきの強化、地域内で消費する習慣の定着が図られると認識しています。

③域内経済循環強化の仕組みとして有意義だと考えています。今後については、事業実績や太宰府市商工会からの報告、市民の声などを総合的に勘案し、県の補助金の動向も踏まえて検討していきます。



プレミアム付商品券使用可能店舗
掲示タペストリー・のぼり

全質問項目

- ◇プレミアム付商品券事業について
- ◇学院中学校施設整備について
- ◇指定管理者制度について

Q 6月議会では個別避難計画の進捗を伺った。今回は災害時要配慮者など発災時にご本人自身では避難できない方々の避難とその避難訓練について5点伺う。

①避難訓練の意義について
②障がい者や個別避難計画作成済みの対象者の避難方法について
③その避難方法の有効性について
④屋内・垂直避難の有効性について
⑤避難訓練の実施計画について

A ①避難訓練は災害時の迅速かつ的確な行動につながり、避難経路や危険箇所の把握、地域連携や防災意識の向上に寄与します。

全質問項目
◇災害時要配慮者の防災対策について



否認認訓練を提案しています。

問 災害時要配慮者の
防災対策強化を

森田 正嗣 議員



録画映像はこちら

質問を行った議員名と質問項目、及び原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。



問 まちづくりビジョンをはじめとする各計画の推進

堺 剛 議員



録画映像はこちら

Q 2040年問題を視野に本市の今後の取り組みについて2点伺う。

A ①①毎年見直しを行い、今後の取り組みに反映するよう努めています。

②複数の関連する関係課で連携した取組を行うように心がけています。

③地域活動の担い手育成のための支援に努めています。

全質問項目
◇本市の将来を展望したまちづくりビジョンについて
◇本市のデマンド交通実証実験と交通インフラについて



第四次太宰府市地域福祉計画

総合的に検討していきます。

Q 市内の交差点整備について2点伺う。

A ①大宰府政庁跡交差点は、一車線

②観世音寺前交差点は、押しボタン式信号機により歩行者にとっては利便性が高い一方で、車両の右左折が制限され、立ち往生する車両が見受けられる状況である。現状の把握および改善策について伺う。

②観世音寺前交差点は、朱雀方面から右折する際に特に車両の流れが滞ります。観世音寺側が史跡地かつ私有地であることを考慮したうえで、引き続き関係機関と協議・検討を行います。



問 暮らしに影響する
交差点への今後の対応

入江 寿 議員



録画映像はこちら

全質問項目

- ◇市内交差点の整備について
- ◇通学路の整備について



大宰府政庁跡交差点

質問を行った議員名と質問項目、及び原則として最初の質問項目と回答内容の要約を掲載しています。

所管調査報告

総務文教常任委員会

日にち：7月30日(水)

調査先：太宰府消防署、太宰府史跡水辺公園、体育センター

筑紫野太宰府消防本部は、消防吏員について、充足率が約74%と低く厳しい状況です。一方、災害出動は増加傾向にもかかわらず、設備老朽化や、消防団員不足も重なり、地域防災力の維持が課題となっています。今後は、計画的な設備更新や人材確保を進め、市民の安心・安全を支える体制強化が急務となっています。

太宰府史跡水辺公園は、屋内外プールを備え、年間利用者は12万人と増加傾向にあります。市民プールとして親しまれ、市民の健康増進に寄与している一方で、利用者からは機材更新やロッカー改修の要望が多く、老朽化や人員確保に加え、運営コストへの対応が必要となっています。

体育センターは昭和52年に設置され、地域住民の健康増進を目的に活用されています。現在は文化スポーツ振興財団が管理し、近隣学校や住民に利用され、年間4万5千人が利用される一方、築48年で老朽化が進み、特に空調未整備の中での夏季熱中症対策が大きな課題です。



太宰府消防署の調査の様子

環境厚生常任委員会

日にち：7月14日(月)

調査先：星ヶ丘保育園、牛島産婦人科医院(産後ケア事業)、
ぎんももひろば(子どもの居場所づくり事業)、人権センター(南隣保館・南児童館)

星ヶ丘保育園の新園舎は円形型の吹き抜けのある立派な施設に建て替えられていました。吹き抜けとなっているため、雨天時等の対策はどうされるか尋ねたところ、ドームのような屋根を付ける計画があるとのことでした。

牛島産婦人科医院では、産後ケア事業について視察を行いました。本市が発行する「産後ケア事業利用パスポート」により7回のケア(サポート)が受けられることなどについて、市民への周知方法を工夫された方がいいのではと感じました。

ぎんももひろばでは、子どもたちに対し安心して過ごせる居場所の提供のほか学習の支援や、生活習慣の助言もなされていました。今後は、学校長などにも情報の共有を行い、このような施設を充実させていく必要があると感じました。

人権センターでは、建物の老朽化を確認しました。今後は建物の耐震化が必要との意見もありました。



星ヶ丘保育園の調査の様子

建設経済常任委員会

日にち：6月26日(木)

調査先：原口No.1池改修事業(太宰府市大字大佐野)、御笠川浄化センター(福岡市博多区那珂)

原口No.1池では令和6年度から令和8年度にかけて大規模な改修が進められています。所管調査時は水を抜いた状態で、池の底から施工状況を確認しました。改修によって、水量の調整機能を強化することで、池の決壊を防ぎ、あわせて農地・住宅地の保全を図っています。

御笠川浄化センターは、御笠川流域6自治体の汚水を処理する、市民生活に欠かせない非常に重要なインフラ施設です。土地の傾斜を巧みに利用し、微生物で汚れを分解、汚泥は再燃料化して環境保全にも努めています。

水をコントロールする社会インフラを長くきれいに使い続けることの重要性は広く認識されるようになってきました。

私たち一人ひとりが、ため池、家庭の台所、道路わきの側溝など、水環境を常にきれいに保つこと。それが社会のみんなの役に立っています。



御笠川浄化センターの調査の様子

Q 令和元年度より、森林環境譲与税が全国の市町村および都道府県に配分されるようになったが、報道によれば、その約4割が活用されず基金に積み立てられている状況である。そこで、森林環境譲与税について3点伺う。

A ①森林環境譲与税の交付額および基金の状況について
②森林環境譲与税の具体的な活用計画について
③未使用のまま基金への積立てが継続される場合の対応方針について

①交付額の累計は約4,647万円であり、現時点の基金残高は約1,554万円です。これまでに約3,929万円を基金から繰り入れ森林環境譲与税事業を実施しています。

②令和3年度に森林整備実施計画を策定し、令和4年度以降はこの計画に沿って毎年調査を行っています。その調査結果をもとに、令和5年度から順次森林整備に着手しています。また、木材利用の促進を図る取組として、いきいき情報センター1階のフリースペースに木製本棚を設置しました。

③毎年、森林調査や森林整備の財源として基

全質問項目

- ◇森林環境譲与税の活用について
- ◇市民主体による「まちピカ運動」の導入について



金を活用しており、交付された森林環境譲与税が未使用のまま積み立てられることはないと考えています。

Q 本年12月から令和8年3月まで(※)、五条から高雄にかけてデマンド交通の実証実験が予定されている。少なくとも朝夕はバスを運行する必要があり、デマンド交通との併用が求められるため2点伺う。

①令和8年4月以降の西鉄バスの運行について
②まほろば号の導入について

A ①運行されている路線バスが突然なくなるのではないかと不安が続いており、廃止となると沿線住民やバス利用者は急激な変化を強いられることになります。西鉄には利用状況や地域の実情などを伝え、交通手段の検討、廃止期限のさらなる延長など協議を重ねていきます。

②深刻な運転手不足という現状のもと、まほろば号の路線拡大や運行便数の充実のためには、他路線の縮小・減便等の最適化、バス以外の交通モードによる運行など、様々な検討が必要です。市全体を広い視野で見つつ、地域公共交通の再構築を目指し検討を継続していきます。

※運行開始予定時期は令和8年1月下旬に変更となりました。

全質問項目

- ◇デマンド交通とバス路線の併用について
- ◇プラスチック資源の回収について



まほろば号



今泉 義文 議員

問 森林環境譲与税の積極活用を



録画映像はこちら



笠利 毅 議員

問 デマンド交通と路線バスを組み合わせよ



録画映像はこちら

「手話言語条例調査研究 特別委員会」の最終報告

本委員会では約2年間にわたり、他自治体の条例調査や、ろう者等当事者の方々との意見交換等を行ってきました。その結果、本市の観光地としての特性を踏まえ、市民全体に手話言語の理解を広げるため、市独自の条例制定が必要との結論に至りました。条例には、手話を言語として明確に位置付けることや、学習機会の充実を盛り込むべきとしたほか、市への提言事項として、手話通訳士の処遇改善やデフリンピックの魅力発信についてなど、9月定例会において委員長より最終報告を行いました。



委員長
報告映像



議会用語の解説

今号で使われている
議会用語を紹介します。



修正動議

原案に対し、議員が修正の提議を行うとき、提出する動議のことです。原案の修正を行う場合は、修正案を備え文書により「修正動議」を提出することになります。

委員会においては、委員1人でも動議を提出することができますが、本会議においては、動議が認められ会議の議題とされるには、提案者のほかに1人以上の賛成者が必要です。



附帯決議

議会での議決にあたって、その運用上の努力目標や注意事項などを盛り込んだ決議のことをいいます。決議に法的な拘束力はありませんが、議会の意思表示となり政治的に尊重されるべきものとされています。

◇編集後記◇

私たち議会広報特別委員会は、この4年間6名で編集作業を行いました。

市民の皆さまに親しまれ、読みやすい議会だよりを目指して精一杯取り組んできましたが、ご期待に添える内容でしたでしょうか。

今年12月には太宰府市議会の改選が行われます。

そして次号から新しい体制の議会広報特別委員会での編集となります。

今後とも末永くご愛読いただきますようお願い申し上げます。

4年間本当にありがとうございました。

(久)

発行責任者

議長 門田直樹

議会広報特別委員会

委員長 原田久美子

副委員長 笠利毅

委員 堀村剛

委員 木村彰人

委員 今泉義文

委員 馬場礼子

